



## ☆ 諏訪市児童センター センターまつり2013にて

### 「わくわくサイエンス」を実施しました ☆

#### ～ 科学実験、「顕微鏡の世界」、科学遊具作り ～

11月10日(日)に催された「センターまつり2013」に本校科学系クラブの生徒諸君が参加しました。生憎の天気の中でしたが、500人を超える来場者が訪れているいろいろな行事を楽しんだようです。

当日は、会場の一 corner に諏訪清陵高等学校の発表ブースを2ヶ所設けさせていただいて、化学部、生物部の諸君が地域の小中学生やそ



の保護者の皆さんに向けて、**ポスター発表、展示発表、模擬実験発表**を行い、物理部の諸君は自ら製作した**科学遊具**を使って、ゲーム感覚で小中学生の科学的好奇心を喚起していました。

化学部は平素取り組んでいる実験の中から、**ムラサキキャベツ抽出液の色をpHによって変化させる実験**、そして、**酸化還元反応を利用した振動反応実験**を発表しました。また演示実験として**液体窒素を用いた実験**と「ゾウさんの歯磨き」とよばれる科学実験(過酸化水素の分解により大量の気泡を発生させる)を行いました。「ムラサキキャベツの抽出液の色」や「振動反応」の実験では目の前で試薬の色が劇的に変化する様子に子どもたちはとても興味を持った様子でした。

生物部は、日常的に調査研究している「**諏訪湖のプランクトン**」についてのポスター発表、**透明標本作りの発表**、そして「**顕微鏡の世界**」とタイトルで



諏訪湖で見られるプランクトンや諏訪地域で観察できる動植物の顕微鏡観察を実施して、来場者に顕微鏡の世界を体験していただきました。来場者の皆さんは、身近な諏訪湖に住むプランクトンを間近に見たり、諏訪湖ではプランクトンが季節的にその種類や数が変わるとい

う説明に聞き入っていました。また、生物部が平素工夫して作成している透明標本には沢山の子供たちが興味を持ったようです。



物理部は、部員が苦労して組み立てた手作りの**電気回路遊具(イライラ棒)**を使って小中学生にゲームを楽しんでもらいました。遊具のしぐみを尋ねる子供も見られました。

